

《担当者名》 田中真樹 丸川活司 高橋祐輔

【概要】

本特論では、臨床検査研究法特論Iで学習する知識と共に、研究を遂行する上で必要となる、実験動物を用いた臨床検査研究法、および研究結果に対する応用的な統計学的解析法を学習する。また、研究倫理に関する知識を深め、臨床検査研究などのヒトを対象とした研究を行う上で発生する倫理的問題について学び、倫理的に配慮された研究展開法と研究コンプライアンスを学習する。さらに、ヒトの血液・尿・組織や生体を用いた臨床研究の立案から実施までの各種手続きの流れ、および論文作成の手順やプレゼンテーション方法についても習得する。

【学修目標】

- 1) 新規臨床検査項目を開発するために、動物実験の基本的な考え方を理解する。
- 2) 動物実験の現状を理解し説明できる。
- 3) 遺伝子改変マウスを理解し分類できる。
- 4) 統計ソフトを応用的に操作する。
- 5) データを正確に解析し、得た結果情報を円滑に説明できる。
- 6) ヒトを対象とした臨床検査研究に必要な倫理を列挙できる。
- 7) 臨床研究の実施に必要な手続きと対応組織について理解し説明できる。
- 8) 論文の作成手順や報告方法を習得できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	動物実験の目的	動物実験の歴史・概念・目的	田中真樹
2	実験動物の実験操作 1	身体の保定・給餌・給水制限・外科的処置・麻酔鎮処置	田中真樹
3	実験動物の実験操作 2	術後管理・人道的エンドポイント・安楽死処置・安全管理の配慮	田中真樹
4	遺伝子改変マウス	トランスジェニックマウスの概要	田中真樹
5	研究データの解析 1	統計ソフトの使い方について	高橋祐輔
6	研究データの解析 2	統計データを用いた結果のプレゼンテーション法	高橋祐輔
7	研究倫理の概念	研究コンプライアンス(研究の不正行為や研究費の不正使用)について	高橋祐輔
8	利益相反	利益相反について	高橋祐輔
9	研究の倫理指針 1	ヒトを対象とした研究の倫理指針	丸川活司
10	研究の倫理指針 2	手術等で摘出されたヒト組織の倫理指針	丸川活司
11	研究の倫理指針 3	動物実験等の実施に関する基本指針	高橋祐輔
12	臨床研究 1	臨床研究の概要と現状について	丸川活司
13	臨床研究 2	臨床研究の進め方について	丸川活司
14	修士論文の作成	修士論文作成のための手順	田中真樹
15	修士論文の報告	報告時のプレゼンテーションのやり方	田中真樹

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート100%

【評価基準】

研究を遂行する上で必要となる、実験動物を用いた臨床検査研究法、および研究結果に対する応用的な統計学的解析法を理解し、臨床研究の立案から実施までの各種手続きの流れ、および論文作成やプレゼンテーションができる者に対して単位を付与し、学修目標に記載する能力（知識・技能、思考力、判断力、表現力など）の達成度に応じて、優（80点以上）、良（70点以上）、可（60点以上）の評価を与える。

【参考書】

配布資料

【備考】

Google Formを用いてレポート課題を提出する。

【学修の準備】

予習は、配布した資料を十分に読んでおくこと(80分)。

復習は、配布資料を活用し理解を深めること(80分)。

【ディプロマポリシーとの関連性】

(DP2) 臨床検査に携わる高度専門職業人として、医療環境の変化や社会的ニーズを把握し、臨床検査や関連研究から新しい知識と技術を修得、実践・応用し、質の高い臨床検査を提供できる能力を身につけていること。

【実務経験】

田中真樹(歯科医師)、丸川活司(臨床検査技師)、高橋祐輔(臨床検査技師)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、臨床検査研究法特論 を講義する。